

生物学教育における学士力の考察

【到達目標】

1. 生物の基本単位と生命活動の仕組み、および細胞レベルから生態レベルまでの相互関係を含めた生物学の基礎知識を身に付けている。

【コア・カリキュラムのイメージ】

生物の基本構造、遺伝、代謝、細胞間・個体間のネットワーク、進化と生態など

【到達度】

- ① 生物学の関連用語を知っている。
- ② 生物学の関連用語を他者に説明できる。
- ③ 生物学の知識を体系的に説明できる。

【測定方法】

- ①は、客観式の筆記試験などにより、確認する。
- ②は、論述式の筆記試験などにより、確認する。
- ③は、論述式の筆記試験、レポート、プレゼンテーションなどにより、確認する。

【到達目標】

2. 生物の観察や実験によって、実証に基づいた自然科学的で客観的な論理性を習得できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

基礎生物学の実験など

【到達度】

- ① 与えられた材料と方法を使って実験ができる。
- ② 実験結果をまとめられる。
- ③ 実験結果に基づいて背景や関連事項を考察できる。

【測定方法】

- ①は、実験を行うことにより、確認する。
- ②は、レポートなどにより、確認する。
- ③は、レポートおよびプレゼンテーションなどにより、確認する。

【到達目標】

3. 生物学の視点から生物や環境に関連する問題について考えることができる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

生物や環境に関連する取り決め(条約、法令)、生命倫理、哲学、宗教学、社会学など

【到達度】

- ① 生物や環境に関連する人文・社会学分野の知識を身に付けている。
- ② 人文・社会学分野の知識を活用して、生物や環境について考えることができる。
- ③ 生物や環境について、人文・社会学分野に関連付けて発展的に議論できる。

【測定方法】

- ①は、客観式の筆記試験などにより、確認する。
- ②は、論述式の筆記試験などにより、確認する。
- ③は、小論文、レポート、プレゼンテーションなどにより、確認する。